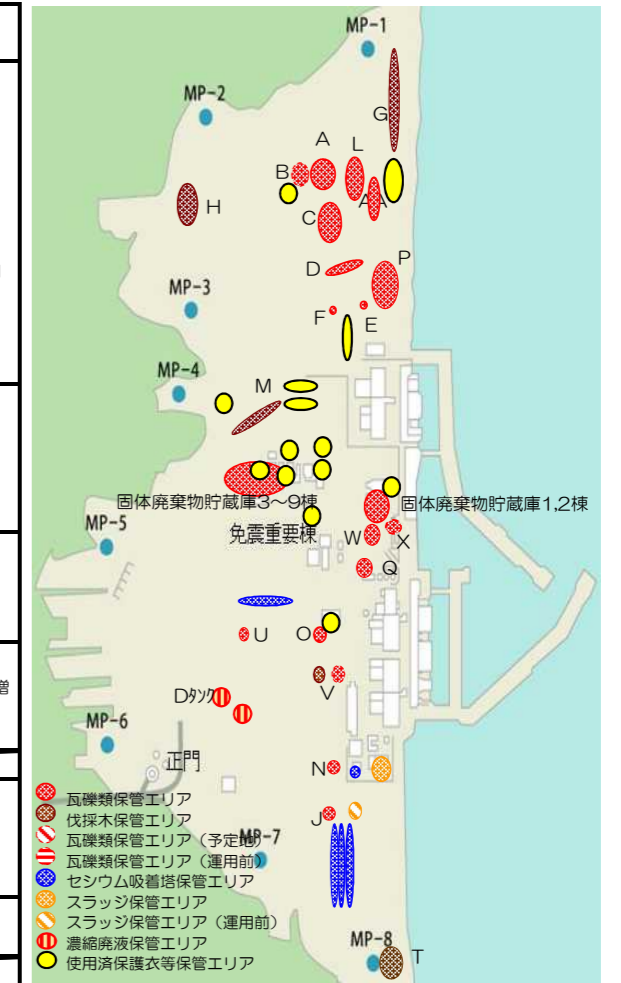


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.3.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2020.2.28 - 2020.3.31)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.21	400 m ³	微減	⑥	0%	209700 / 266500 (79%)	<ul style="list-style-type: none"> フランジタンク解体片 2020年3月末時点でコンテナ1,020基保管。 エリアP1 コンテナ数: 622基 (2015年6月15日~) エリアAAコンテナ数: 398基 (2018年3月15日~) エリアAの運用変更により、保管容量(13,800m³)増加。(2020年1月) エリアAは1~30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。
	B	屋外集積	0.01	5,300 m ³	0	—	100%		
	C	屋外集積	0.01未満	63,100 m ³	-100	①②⑦	100%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	44,000 m ³	+100	③④	86%		
	P1	屋外集積	0.01未満	54,700 m ³	+500	②⑥	85%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	6,000 m ³	+100	②④	100%		
AA	屋外集積	0.01未満	13,100 m ³	+600	⑤	36%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0	—	58%	42700 / 71000 (60%)	<ul style="list-style-type: none"> エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,300 m ³	+100	⑥	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,800 m ³	0	—	64%		
	W	シート養生	0.03	12,100 m ³	+100	②⑥	41%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 容器(1~ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0	—	100%	17900 / 24600 (73%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m³)増加。(2018年5月) エリアAの運用変更により、保管容量(7,100m³)減。(2020年1月)
	E2	容器 ^{※4}	0.01未満	1,200 m ³	微増	⑥	68%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	21,800 m ³	+700	②⑥	48%	21800 / 45600 (48%)	<ul style="list-style-type: none"> 主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m³)増加。(2018年2月)
	合計(ガレキ)				292,000 m ³	+2,200 m ³	—	72%	
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0	—	63%	97000 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	400 m ³	+100	⑧	7%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0	—	94%			
合計(伐採木)				134,300 m ³	+100 m ³	—	77%		
保護衣 屋外集積	容器	0.02	46,400 m ³	-1,800 m ³	⑨	68%	46400 / 68300 (68%)	<ul style="list-style-type: none"> 使用済保護衣等焼却量 7192t (2020年3月末累積) 焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1783本 (2020年3月末累積) 	
合計(使用済保護衣等)				46,400 m ³	-1,800 m ³	—	68%		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク関連工事 ②1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
 ⑥エリア整理のための移動(A→固体庫、P1→E1、W→E2、固体庫) ⑦碎石取り出し ⑧伐採木受入 ⑨焼却運転

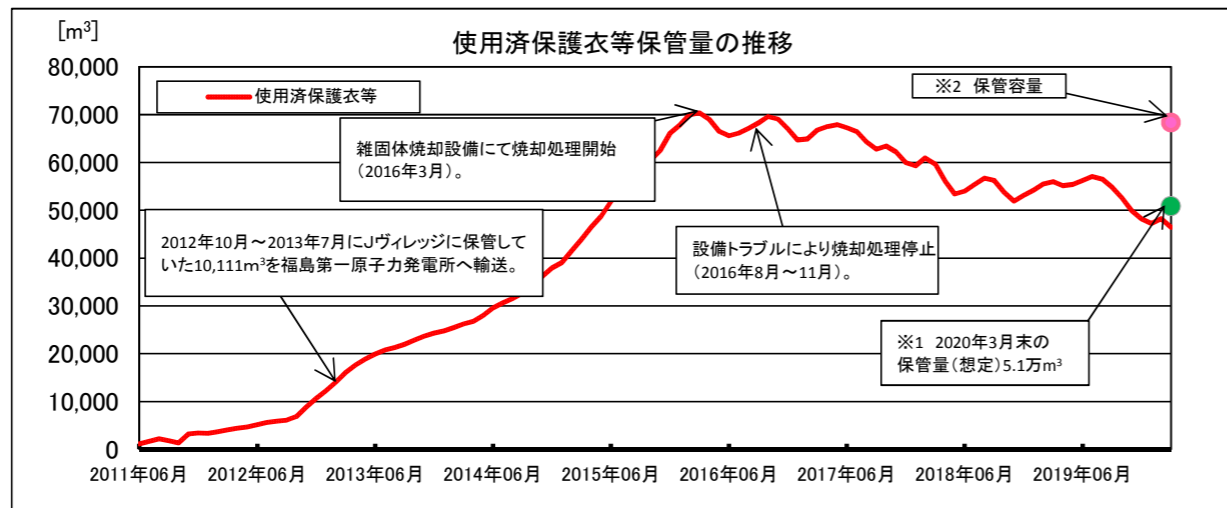
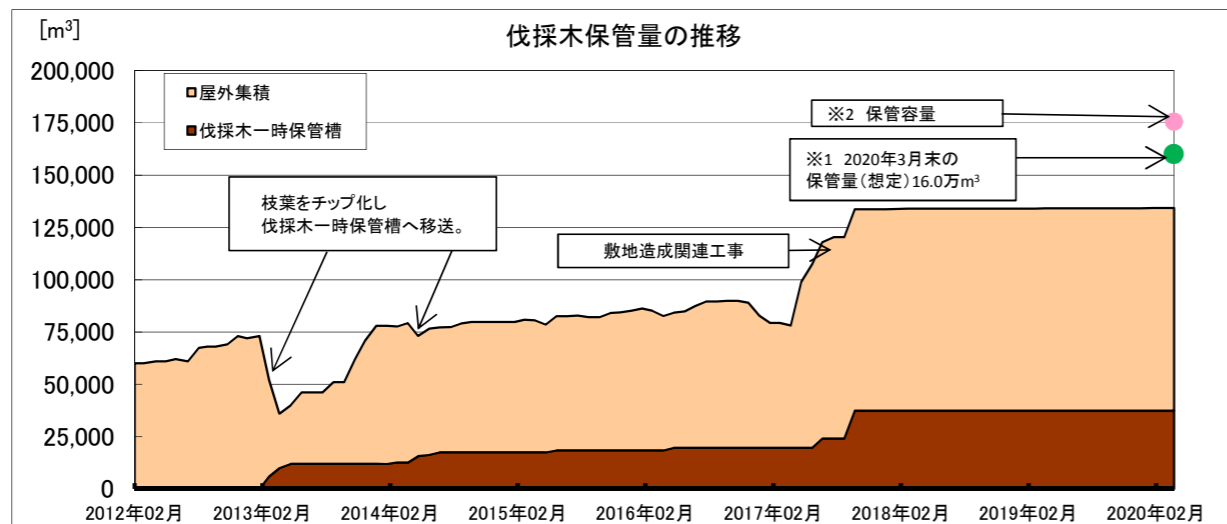
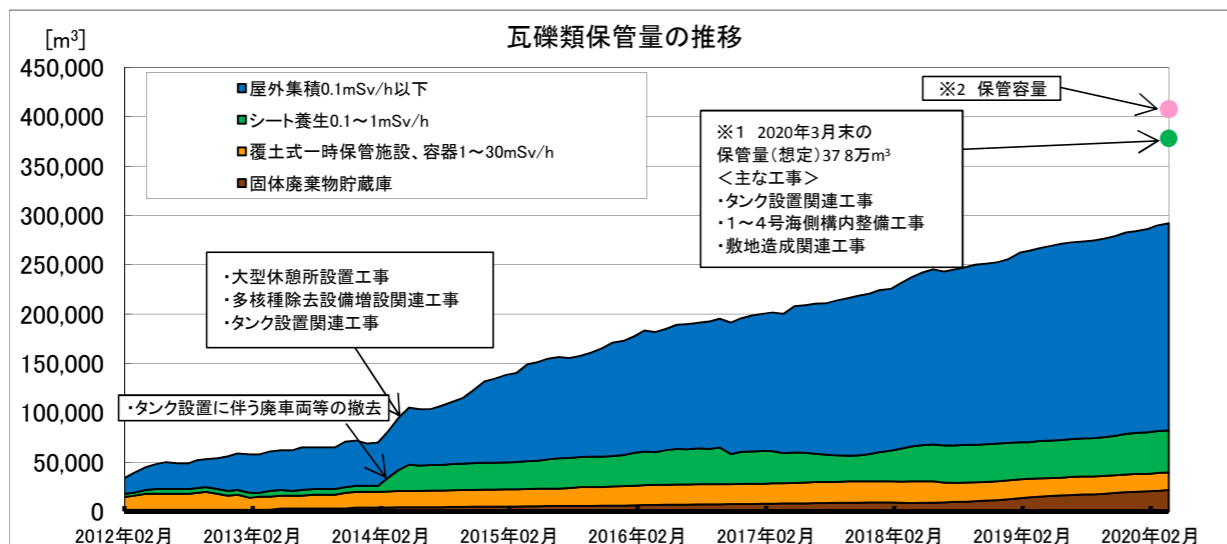
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2020.4.2時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2020.3.5 - 2020.4.2)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4718 / 6372 (74%)	<ul style="list-style-type: none"> 吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) 使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	230 本	+2 本		
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル	2 本	+1 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,727 基	+8 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	74 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	17 塔	+2 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	212 本	+2 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	<ul style="list-style-type: none"> 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,356 m ³	+11 m ³	9356 / 10300 (91%)	<ul style="list-style-type: none"> タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) 水位計0%以上の保管量: 9256 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.3.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.4.2時点)

